

第607号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2019年10月16日
発行責任者 喬木村公民館長 徹
市瀬 徹
編集責任者 公民館編集部 長 志
仲田 久 志
印刷 龍共印刷株式会社

楽遊塾

七宝焼き教室 開かれる

七宝焼きとは、銅や銀などの金属素地に、釉薬(ガラス質の粉末)を盛り、八百度で焼き付けて装飾する工芸です。七宝の語源は、仏教の経典にある「七つの宝物」金・銀・ルリ(ラピスラズリ)・ハリ(水晶)・シヤコ(シヤコ貝)・メノウ・真珠(諸説あり)を表し、その七つの宝に匹敵するほど美しいことから、この名称がつけられたとされています。

そんな、普段なかなか体験する機会のない伝統工芸技法を、九月二十九日に賜洋子さん、木下和子さん、河西美津江さんを講師にお迎えし、七宝焼きクラブの皆様にもお力添え頂いてペンダントなどを作りながら



講師と参加者のみなさんで記念撮影

の、六工程ある手間のかかる下地作りは、全て講師の方々が行って下さり、私たちは釉薬を盛る作業からさせて頂きました。皆さん、たくさんある釉薬の中から色を選び、試行錯誤しながら思い思いに盛っていきま

す。釉薬を盛り終えた銅板は、電気炉で焼きます。数分して焼き上がり、炉から取り出された作品を見た時、焼く前はサラサラした粉状だった釉薬が、真っ赤に溶けて表面も滑らかなになり、時間の経過とともにゆっくり冷えて色が変わっていく様が幻想的で、うまく表現できない程の感動を覚えました。

JICA異文化交流会 開催される

シンハラ語のシリパーラさんはとても上手な日本語でスリランカの歴史や食文化を紹介し、実際に伝統衣装を見せてくれました。また、学習用具を用いてシンハラ語を学びました。後半では参加者同士でシンハラ語を使ってあいさつができるようになりました。

白く、参加者は楽しく学ぶことができました。JICA駒ヶ根の遠山さんは、「今後も語学講師の方との交流を色々な地域で行いたい」というので、喬木村でも国際交流の機会が増えると思います。ぜひ参加してみてください。

「七宝焼きの宝石のような美しい輝きは、長い時間が過ぎて色あせることはありません。世界に二つとない自分だけの作品です。」とおっしゃった賜さんのお言葉が心に残っています。講師の方々はじめ、七宝焼きクラブの皆様のおかげで、楽しく貴重な時間を過ごせましたこと、心より感謝申し上げます。今回の作品は十一月十五(十七日)に開催される村文化祭に展示させていただきますので、ぜひご覧下さい。

九月六日(金)福祉センター多目的ホールにおいて、駒ヶ根青年海外協力隊訓練所(JICA駒ヶ根)が主催する異文化交流会が開催されました。高森町の熱中小学校に参加する村民とJICA駒ヶ根に勤務する、高森町職員の高山さんと繋がりから今回の交流会が実現し、今回スリランカとネパールからきている講師二名を招いて外国語講座が開かれました。



交流会のようす

高齢ドライバーによる悲惨な交通事故が多発している。池袋で旧通産省工業技術院長が運転する車が暴走し、女性とその子どもが轢き殺される事故は記憶に新しい。

あの時

先月、歌手の加山雄三が運転免許を自主返納したことがニュースで流れた。インタビューでは「大好きなテレビゲームで勝てなくなり、衰えを実感した」と言っている。また、歌手で俳優の杉良太郎は、「事故で人を死なせてしまったら取り返しが付かない。返納を考えるとさっさと返納した」と、七十五歳を前に自主返納した。

椋鳩十ものがたり 60

『椋鳩十全集』掲載作品

椋鳩十顕彰会 久保田 毅

その3「ハイジの夕やけ」

椋鳩十全集十一 「自然の中で」 昭和四十五年三月

「ハイジ」は、スイスの大自然の中で、みずみずしく生長していく一人の少女(ハイジ)の姿をえがいた

物語です。その本を担任の市瀬先生が「『ついで、このあいだ町から買って来た本だ』と買って『ハイジ』という物語を貸してくれました。」椋少年は、何回も何回も読みます。まだ、読み足りないと思われるほどでした。「主人公ハイジのこの世

少年の、いたずらっぽくて、清らかな心...こんなそれぞれの心に、限りない感動をおぼえるのです。特に、ハイジとアルムじいさんが、山の上の岩にこしかけて、ながめる夕やけの美しさにうっとりさせら

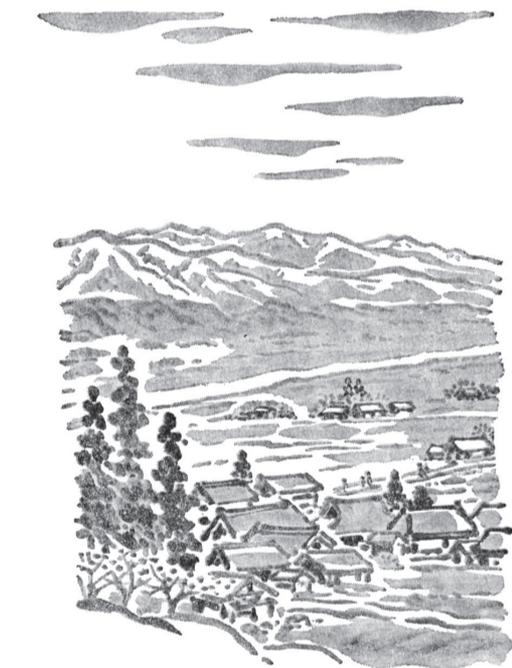
のものとはおもわれぬほどの、純真美しい心...心の底に、日だまりのような、あたたかい心をもっているアルムじいさん...ペーテル

「そのときから私は『ハイジ』の夕やけに、すっかり、とりつかれてしまいました」

椋少年の裏山に松山があります。椋少年は、ハイジの夕やけをながめるために、いつも松山にかけのぼっていくのです。

「小さな山でしたが、そこにのぼると、中央アルプスの遠く遠くつらなる峰々も、下の家々のたちならぶ里も...町を通る馬も...買い物にでたおかみさんも、夕やけは、いちように、赤く赤くそめあげるのでした...」

この時の、ハイジとアルムじいさんの会話が、椋先生の著書『にせもの英雄』には、 「『おじいちゃん、夕やけはなぜこんなに美しいの』お別れの言葉は、すべて美しいのさ。夕やけは、太陽が、地球へのお別れのあいさつだから美しいのさ...』と美しいわけを書かれています。



本文「ハイジの夕やけ」では、「天も地人も、いちように、はなやかさに燃える、『ハイジ』の夕やけのなかに、わたしは、うっとりとして、立つのでした。」と結ばれています。

確かに高齢者が運転する車による事故は後を絶たない。バス、電車などの公共交通網が発達している都会はいいが、私たちが住む田舎では、車は生活に欠かせない足である。だから高齢者は衰えを感じても事故の心配をしながらも運転し続けている。我が家の父も九十三歳まで運転していたが、私が高齢になったのを機に自主返納し、通院や買い物、知人宅への訪問など、私か妻の送り迎えで出かけるようになった。

分館対抗男女混合ソフトバレーボール大会



優勝の南分館



優勝の富田分館

九月八日(日)、中央社会体育館、中学校体育館の二会場で、分館対抗男女混合ソフトバレーボール大会が開催されました。

今年の参加チームは十分館二十一チームで、予選リーグから白熱した試合が

繰り広げられました。中央社会体育館では南Bチームが、中学校体育館では富田Yチームが、それぞれ優勝しました。参加分館の選手・役員の方々は大変お疲れさまでした。

喬木俳句会

長月旬会詠草

逝きし子の二才のままや盆の月
老ひし今一人聞き入る秋の声
里山の棚田稲穂が波立ちぬ
飛驒の里合掌づくりり夕もみじ
朝顔や紅の縁どり咲きつづく
窓越しの半月に添ふ星清ら
狼煙上ぐ峰々超へし萩の波
消へゆきし花壇の虹の美しさ

西元くにこ
市橋 ヨリ
田中 君子
村山たか子

盆僧を待つ間となりし孫の経
夏休み終へし河原の静けさよ
畦道を行き交ふ声もさやけしや
名も知れず声も聞こえぬ草の花
零さんと長き茎揺る女郎花
雨予報待たず大根種を蒔く
僧逝きて夕蟬に和す読経かな
百歳へ五指折りて足る秋思かな

秦 恭子
松葉 孝子
原 美恵
吉川てる子

喬木村夜間ソフトボール連盟第45回大会リーグ 伊久間A 優勝

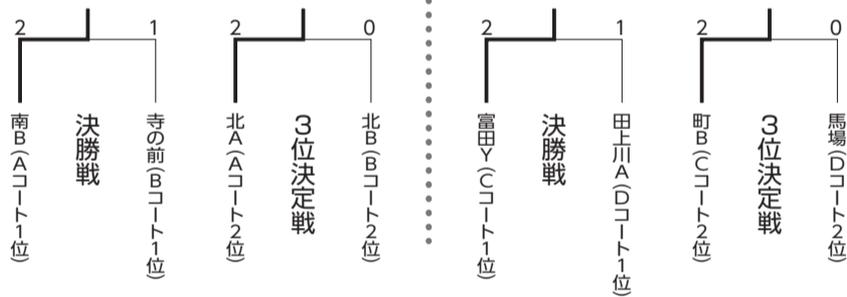
順位	チーム名	伊久間A	上平龍王	富田B	北明神	富田L	南D	町天狗海	寺の前	婦牛原S	伊久間K	伊久間G	勇龍	婦牛原D	北久ら馬	両平	南志ら鳩	勝数	負数	分点	勝点
優勝	伊久間A	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	1	0	14
準優勝	上平龍王	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	13	2	0	13
3	富田B	●	●	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	3	1	11.5
4	北明神	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	10	4	1	10.5
4	富田L	○	●	△	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	4	1	10.5
6	南D	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	8	6	1	8.5
7	町天狗海	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	7	0	8
7	寺の前	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	7	0	8
9	婦牛原S	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	6	8	1	6.5
9	伊久間K	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	6	8	1	6.5
9	伊久間G	●	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	5	7	3	6.5
12	勇龍	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	5	9	1	5.5
13	婦牛原D	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4	11	0	4
14	北久ら馬	●	●	●	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	12	1	2.5
14	両平	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	12	1	2.5
16	南志ら鳩	●	●	●	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	12	2	2

※勝ち点 1勝=1 引き分け=0.5 で加算 (同点の場合 ①勝数の大 ②負数の小 ③以上で同じなら同順位
ただし、1位の決定は直接対決による。引き分けの場合は決定戦を行う。)
印：○勝ち、●負け、△引き分け、□不戦勝、■不戦敗

令和元年度 分館対抗男女混合ソフトバレーボール大会 結果表

中央社会体育館会場
優勝：南 B
準優勝：寺の前
3位：北 A

中学校体育館会場
優勝：富田 Y
準優勝：田上川 A
3位：町 B



九月二十五日、第七十四回国民体育大会に弓道競技で出場する木下佑紀さんの激励会が行われ、市瀬村長および多田体育協会会長からそれぞれ激励金が授与されました。

木下さんは今年の六月に行われた県の最終選考会で行われた県の最終選考会で行われた三選手の一人に選出され、八月の北信越大会では総合一位となり、今回の国体に出場することになりました。

現在飯島町の弓道場で、仕事終わりにほぼ毎日二時間ほど練習しています。

大会での健闘だけでなく、今後も活躍することを期待しています。

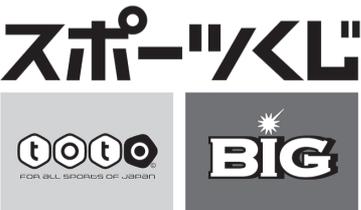
木下さん 国体弓道出場



運動公園テニスコート照明LED化 改修工事完了のお知らせ

運動公園テニスコート照明が新しく生まれ変わりました。今後も大勢の皆さんのご利用をお待ちしています。

この事業は、「toto」の助成を受けて実施しました。



第三十回駅伝大会開催にあたりお願い

第三十回駅伝大会が十一月三日(日・文化の日)に開催されます。午前九時に運動公園グラウンドをスタートし、十時三十分までの間、多数のランナーが村

内を走行していただきますので、注意いただきますようお願い致します。

※ランナーは基本左側通行です。

編集後記

空を見るのが好きで、よく見上げるが、秋の空は一年を通して見ても、表情が変わるので見ていて飽きることがない。

今は簡単にスマホで写真が撮れる時代になり、良い

など思った時に撮ることもある。本当は散歩などしてゆっくり空を眺めながら撮りたいところなのだが、現実は毎日追われてそれどころではない。ただ、時々良い感じの空と雲に出会えた時は、疲れも少し飛んでいく気がする。